

林業普及週間現地情報 (6/30 ~ 7/6)

森林管理課

現地適応化事業（ホウビカンジュ）の栽培試験（施肥、収穫、調理）

令和元年7月1日(月)に、森林資源研究センター（名護市）内の林間において、今年度2回目の山菜（ホウビカンジュ）の栽培試験作業を行った。前回作業（5月31日）でプランターに植栽したホウビカンジュについては、活着するまでもうしばらく施肥はしない方が良くと判断し、今回は、林内に地植えしている試験区域内のホウビカンジュに4パターンの施肥試験（15 個体×4）を実施した。また、林内ホウビカンジュの新芽（約 15cm）を収穫し、調理して試食会を行った。収穫したホウビカンジュを5分ほど湯がいた後、サラダとして食したり、またきのここと併せてバター炒めにして食した。炒めるとシャキッとした食感に変わり、味、食感共にとてもおいしく、手軽でそして調理への使い勝手がとても良い食材であることを改めて実感した。

今後引き続き施肥別による試験栽培のデータ収集を行うと共に、食味についても季節折りで変化があるのか、レシピ考案も含め情報収集していきたい。



(↑施肥試験作業)



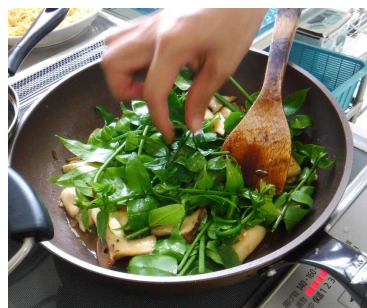
(↑収穫作業)



(↑収穫したホウビカンジュ)



(↑試食調理 (茹))



(↑試食調理 (炒))



(きのこことホウビカンジュバター炒め)

(報告者：森林管理課 佐喜眞)